

# 質 疑 回 答 書 (工 事)

関係者 各位

工事名 幹線管路耐震化事業祇園工区配水管布設替工事  
(但し小松川推進工)

宮崎市上下水道局 水道部 水道整備課長  
(公 印 省 略)

工事場所 宮崎市 祇園2丁目外

下記のとおり回答いたします。

記

番号	質 疑 事 項	回 答
1	水道施設工事特記仕様書、第2章施工条件の4 安全対策関係に、夜間の作業時間帯が21:00～5:00となっておりますが、これだと作業時間は6.5時間(1時間の休憩+15分の小休憩2回)となりますが、今回の設計全項目に反映されていますでしょうか。	反映していません。
2	水道施設工事特記仕様書、第2章施工条件の6 建設副産物関係に、汚泥の受入場所として、「宮崎市日ノ出町235番1 環境未来恒産」と記載されていますが、こちらは会社所在地であり、中間処理施設ではありません。中間処理施設は宮崎市細江になります。距離として10km。	宮崎県建設技術推進機構が公表している再資源化施設位置図により距離を計上しています。
3	工事設計書P4、運搬費の立坑掘削機器輸送費(発進立坑 φ2500)の運搬距離が2kmとなっておりますが、宮崎県に無い機械のため、福岡県若しくは山口県からの運搬になるのではないのでしょうか。(運搬距離300km、特大品割増し必要)	最寄りの発注機関の所在地から現場までの距離を計上していますが、これにより難しい場合は協議対象となります。
4	工事設計書P4、運搬費の立坑掘削機器輸送費(到達立坑 φ2000)の運搬距離が2kmとなっておりますが、所有業者の置場からだと10kmとなります。	最寄りの発注機関の所在地から現場までの距離を計上していますが、これにより難しい場合は協議対象となります。
5	工事設計書P5、運搬費の仮設材運搬(立坑仮設)の運搬距離が5.3kmとなっておりますが、φ2500の立坑機材及び円形覆工板は宮崎県にありません。福岡県若しくは山口県からの搬入・搬出になります。	最寄りのリース会社からの距離を計上していますが、これにより難しい場合は協議対象となります。
6	工事設計書P5、技術管理費の水圧試験費には、人件費・クレーン等機材・清水運搬及び注水等の費用が計上されているのでしょうか。また、到達側立坑は夜間でしか作業できません。	計上しています。
7	工事設計書P8、運搬費の路面切削機の運搬距離が2kmとなっておりますが、どこからの距離で設計されているのでしょうか。(2km以内にリース会社は無いと思われま	最寄りの発注機関の所在地から現場までの距離を計上しています。

8	<p>工事設計書P28、第5号明細書 汚泥吸排車運搬は、到達側の施工は夜間ですが、昼間で設計されています。また、汚泥排出時間は「機械設置→削孔→注入開始後」となるため、3時間程度で1本あたり約25m3を運搬しなければなりません、原設計では対応できないのではないのでしょうか。運搬距離も10km。</p>	<p>汚泥吸排車運搬については、土木標準歩掛により計上しています。</p>														
9	<p>工事設計書P28、第5号明細書 高圧噴射攪拌工法では公道上での施工の場合、施工箇所には排泥ピットを設置する必要があるのですが、計上されていません。</p>	<p>本設計書においては計上していませんが、必要に応じ協議対象とします。</p>														
10	<p>工事設計書P28、第5号明細書 注入設備移設についてですが、高圧噴射攪拌工法では大規模注入プラント施設を設置しますが、設置位置の指示がありません。</p>	<p>設置位置の指定はしていません。</p>														
11	<p>工事設計書P68、第20号明細書 流末工 ドレン設置工に計上されている、宮崎市型下水道用鉄蓋はそのまま使用できません。後ほど耐スリップ型を指定されると思いますので、最初から耐スリップ型で設計できないのでしょうか。</p>	<p>宮崎市型下水道用鉄蓋を計上しています。</p>														
12	<p>工事設計書P73、第24号明細書 下水道管移設工の掘削土量22m3に対して、埋戻砂が22m3、それに加えて流用土埋戻も21m3計上されていますが、数量が合いません。</p>	<p>左記のとおり計上していますが、必要に応じ協議対象とします。</p>														
13	<p>工事設計書P95・第9号B代価表及び工事設計書P108・第20号B代価表 仮設梯子据付撤去は、日本推進技術協会積算で計上されていますが、今回の施工は図面にも記載されている通り、溶接・ガス切断等が発生しますが、設計計上されておりません。また、仮設梯子も重量物のため、クレーンが無いと施工できません。</p>	<p>日本推進技術協会の積算基準により設計しています。</p>														
14	<p>工事設計書P126、第36号B代価表 試掘土工1のアスファルト舗装版切断の舗装厚が5cmで計上されていますが、25cmではないのでしょうか。</p>	<p>舗装厚t=5cmで設計していますが、必要に応じ協議対象とします。</p>														
15	<p>工事設計書P136、第7号C代価表 汚泥吸引車運転は、深さが10mを超える場合には特殊強力吸引車となります。また、運搬距離も10kmになると思います。</p>	<p>特殊強力吸排車で計上しています。</p>														
16	<p>工事設計書P144、第15号C代価表 埋戻コンクリートは、ダクタイト管の縦管を底部より6m上で接続出来ないため、埋戻コンクリートの1発打設は無理ではないのでしょうか。</p>	<p>一回打設で計上していますが、必要に応じ協議対象とします。</p>														
17	<p>工事設計書P148、第19号C代価表 中込めの注入量は、11m3ではなく、16～17m3ではないのでしょうか。</p> <table border="0"> <tr> <td>HPφ800の体積</td> <td><math>0.4 \times 0.04 \times 3.14 = 0.5024m^3</math></td> </tr> <tr> <td>ダクタイト管の体積</td> <td><math>0.31 \times 0.31 \times 3.14 = 0.301m^3</math></td> </tr> <tr> <td>ダクタイト管受口部の体積</td> <td><math>0.331 \times 0.331 \times 3.14 = 0.344m^3</math></td> </tr> <tr> <td>受口部の長さ(概算)</td> <td>0.3m</td> </tr> <tr> <td>1mあたりの注入量</td> <td><math>0.5024 - (0.301 \times 0.7) - (0.344 \times 0.3) = 0.1885m^3/m</math></td> </tr> <tr> <td>中込注入延長</td> <td><math>L = 90.08 + 0.3 + 0.3 = 90.68m</math></td> </tr> <tr> <td>中込注入量</td> <td><math>V = 0.1885m^3 \times 90.68m = 17.09m^3</math></td> </tr> </table>	HPφ800の体積	$0.4 \times 0.04 \times 3.14 = 0.5024m^3$	ダクタイト管の体積	$0.31 \times 0.31 \times 3.14 = 0.301m^3$	ダクタイト管受口部の体積	$0.331 \times 0.331 \times 3.14 = 0.344m^3$	受口部の長さ(概算)	0.3m	1mあたりの注入量	$0.5024 - (0.301 \times 0.7) - (0.344 \times 0.3) = 0.1885m^3/m$	中込注入延長	$L = 90.08 + 0.3 + 0.3 = 90.68m$	中込注入量	$V = 0.1885m^3 \times 90.68m = 17.09m^3$	<p>注入量を11m<sup>3</sup>で計上していますが、必要に応じ協議対象とします。</p>
HPφ800の体積	$0.4 \times 0.04 \times 3.14 = 0.5024m^3$															
ダクタイト管の体積	$0.31 \times 0.31 \times 3.14 = 0.301m^3$															
ダクタイト管受口部の体積	$0.331 \times 0.331 \times 3.14 = 0.344m^3$															
受口部の長さ(概算)	0.3m															
1mあたりの注入量	$0.5024 - (0.301 \times 0.7) - (0.344 \times 0.3) = 0.1885m^3/m$															
中込注入延長	$L = 90.08 + 0.3 + 0.3 = 90.68m$															
中込注入量	$V = 0.1885m^3 \times 90.68m = 17.09m^3$															
18	<p>工事設計書P150・第21号C代価表及び工事設計書P151・鏡切りの到達側は、夜間作業ではないのでしょうか。</p>	<p>昼間作業で設計していますが、必要に応じ協議対象とします。</p>														

19	工事設計書P156、第27号C代価表 推進機搬出は、到達側なので夜間作業ではないでしょうか。	昼間作業で設計していますが、必要に応じ協議対象とします。
20	工事設計書P177、第8号単価表 機械器具損料及び電力費のうち、発動発電機の規格100kVAとなっていますが、220kVAではないでしょうか。	100kVAで計上していますが、必要に応じ協議対象とします。
21	工事設計書P31、第8号明細書 土工のうち、アスファルト塊運搬・中間処分料の数量が3.4m <sup>3</sup> となっていますが、舗装版厚と剥ぎ取り面積を掛け合わせた数量ではないのでしょうか。 舗装版厚25cm 剥ぎ取り面積68m <sup>2</sup> 設計数量3.4m <sup>3</sup> $0.25 \times 68 = 17m^3$ ではないでしょうか。	既設舗装厚t=25cmの処分量は付帯工において計上しています。

(担当者：宮崎市上下水道局 水道部 水道整備課 相澤)

※事業費の積算は今回回答した条件で積み上げていただきたいと思います。  
但し、施工に際しては現場状況等により内容を変更する場合があります。